

授業科目名	小児保健看護学概論		担当教員	◎大野 知代、吉野 妙子、 高橋 玲子	科目ナンバリング NS286
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

変化する社会のなかで、子どもと家族のおかれている状況を的確に判断し、成長・発達やさまざまな健康状態に応じた看護を学ぶ。

また、小児看護の対象である家族との関わりの中で、子どもが本来持っている力を引き出す看護について学ぶ。

【達成目標】

1. 子どもの成長・発達段階に応じて子どもと、その家族への看護の必要性を理解する。
2. 地域社会に置かれた子どもとその家族の健康・生活状況をふまえて学習する。
3. 家族看護学および小児看護学の概念を理解し、総合的に看護・支援が考えられる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

[01] 小児看護のねらい	(大野)
[02] 小児看護で用いる理論	(大野)
[03] 小児看護の変遷と課題	(高橋)
[04] 小児と家族を取り巻く社会	(高橋)
[05] 小児看護における倫理①	(大野)
[06] 小児看護における倫理②	(大野)
[07] 小児の成長発達	(吉野)
[08] 小児の栄養	(吉野)
[09] 乳児期の小児の成長発達の特徴	(吉野)
[10] 乳児期の小児の健康問題と看護	(吉野)
[11] 幼児期の小児の成長発達の特徴	(吉野)
[12] 幼児期の小児の健康問題と看護	(吉野)
[13] 学童期～青年期の小児の成長発達の特徴①	(吉野)
[14] 学童期～青年期の小児の健康問題と看護②	(吉野)
[15] 学童期～青年期の小児の健康問題と看護③	(吉野)

【教科書】

1. 奈良間美保他(2020). 小児看護学【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論、医学書院
2. 奈良間美保他(2020). 小児看護学【2】小児臨床看護各論、医学書院

【参考書】

1. 中野綾美編集(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学 小児の発達と看護、メディカ出版
2. 松尾宣武・濱中喜代編集(2019). 小児看護学概論・小児保健、メヂカルフレンド社
3. 二宮啓子他編集(2017). 小児看護学概論、南江堂
4. 日本子ども守る会編集(2021). 子ども白書、草土文化
5. 母子愛育会愛育研究所(2022). 日本子ども資料年鑑、KTC 中央出版
6. 日本小児看護学会編集(2007). 小児看護事典、へるす出版
7. 服部祥子著(2020). 生涯人間発達論、医学書院

上記以外は適宜紹介する。

【評価方法・評価基準】

学期末試験(80%)、レポートなどの課題(20%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習として小児の発達心理学をはじめ既習の関連教科をしっかりと予習し授業に臨む(2時間)。

また、各授業回の終了時には、既習の知識の再確認と復習を行い次年度の援助論につなげる(2時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅲ. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

試験やレポート等のフィードバックは、口頭で全体にコメントまたは必要に応じて添削し個々に返却する。

【備考】

特になし